

第2部 ごみ処理基本計画

第1章 ごみ処理の現状

1) ごみ処理の沿革

本市では以下に示す区分変更を経て、平成13年度以降は、家庭ごみ（可燃）に加え、資源ごみ11区分（アルミカン、スチールカン、スプレーカン・カセットボンベ、空きビン（無色、茶色、他の色）、ペットボトル、その他不燃物、その他プラスチック、蛍光灯、筒型乾電池）の収集を行っています。

昭和26年	4月	ごみ収集開始
昭和40年	12月	可燃・不燃の2分類収集開始
昭和45年	7月	ステーション方式及び週2回収集の実施
昭和53年	11月	5種類分別収集開始 (空きカン・空きビン・金属・埋立ごみ・古紙)
昭和59年	5月	廃乾電池分別収集開始
平成9年	4月	家庭系ごみ週4日収集体制となる
平成11年	4月	ペットボトル分別収集開始
平成12年	4月	「スプレー缶・カセットボンベ」分別収集開始
平成13年	4月	全祝祭日 生ごみ収集開始 その他プラスチック、ビン3種色分け、廃蛍光灯分別収集開始

また、昭和39年6月に関係市町で組合（乙訓環境衛生組合）を構成し、ごみの中間処理及び最終処分を行っています。

2) 分別区分と処理フロー

(1) 分別区分

本市では家庭系一般廃棄物の収集を行っています。以下収集を行うごみを「収集ごみ」、組合に直接搬入されるごみを「直接搬入ごみ」とします。なお、直接搬入ごみのほとんどが事業活動に伴い排出される事業系一般廃棄物です。

— 分別区分 —

区 分	品 目	
家庭ごみ(可燃)	生ごみ、燃えるごみ	
資源ごみ(分別)	空きカン	アルミカン
		スチールカン
	スプレーカン・カセットボンベ	
	空きビン	無色
		茶色
		他の色
	ペットボトル	
	その他不燃物	金属類、陶磁器類、ガラス類
	その他プラスチック	レジ袋、ボトル類、カップ・パック類、トレイ類、ポリ袋、ラップ類、容器包装用発泡スチロール
	廃蛍光灯	
廃筒型乾電池		
粗大(大型)ごみ	再利用できない家具類・電化製品(家電5品目を除く)	
側溝清掃汚泥(ドロ回収)		
収集できないごみ	処理困難物(タイヤ、バッテリー、消火器、農機具、ピアノなど)、薬品類(劇薬、毒物等)、植木の刈り込み等、新聞・雑誌・ダンボール、事業系一般廃棄物、オートバイ	
メーカーによるリサイクル	エアコン・テレビ・冷蔵庫及び冷凍庫・洗濯機・衣服乾燥機・パソコン	

資料：「ごみ減量のしおり」長岡京市
「事務報告(22年度版)」乙訓環境衛生組合

直接搬入ごみは「可燃ごみ」と「粗大ごみ」があります。

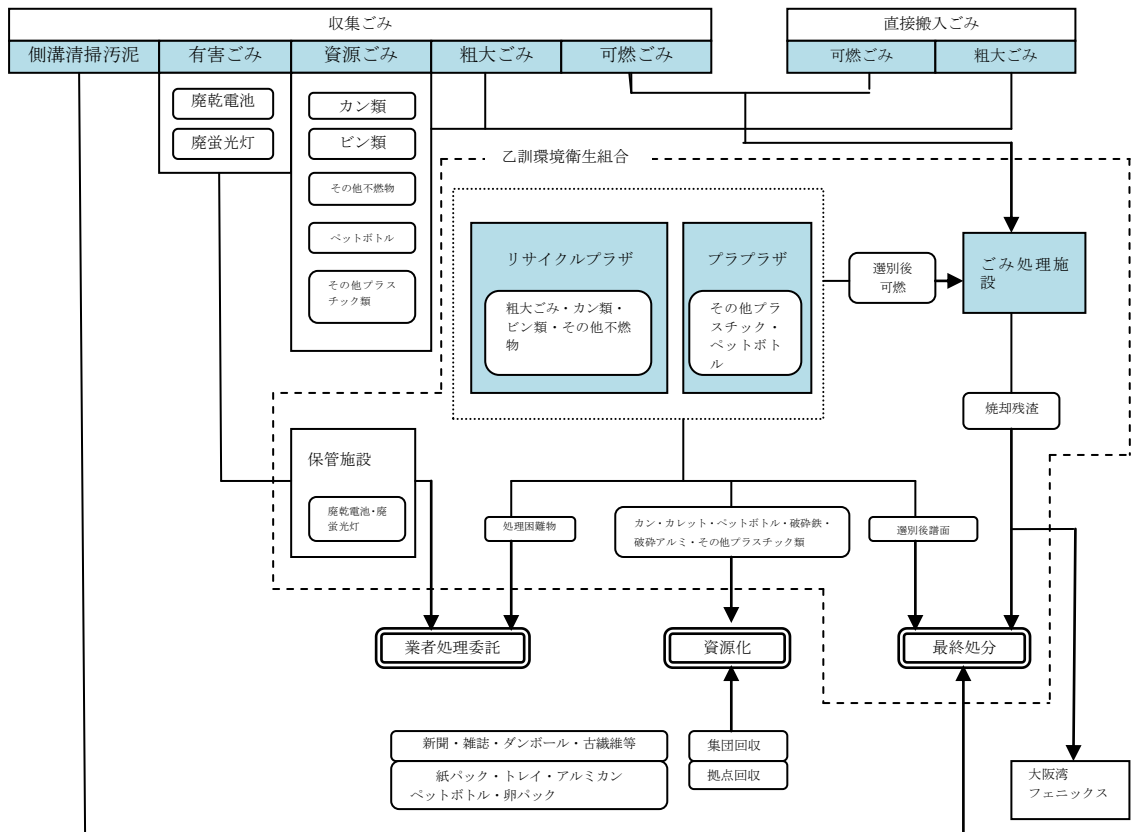
また、本市による拠点回収及び自治会等による集団回収において「新聞、雑誌、段ボール、紙パック、トレイ、アルミカン、ペットボトル、卵パック」の資源回収を行っています。

本計画では、以下に示す区分の名称に統一した表現で以後整理します。

— 分別区分名称 —

組合		長岡京市	
可燃ごみ		家庭ごみ（可燃）	
資源ごみ	カン類	空きカン	アルミカン スチールカン
	ビン類	空きビン	無色 茶色 他の色
	ペットボトル	ペットボトル	
	その他不燃物	その他不燃物	
	その他プラスチック	その他プラスチック	スプレーカン・カセットボンベ
有害ごみ	廃蛍光灯	蛍光灯	
	廃筒型乾電池	筒型乾電池	
粗大ごみ		粗大（大型）ごみ	
側溝清掃汚泥		側溝清掃汚泥（ドロ回収）	

(2) 処理フロー



— 処 理 フ ロ ー —

3) ごみ発生量の実績及びその性状

(1) 種類別発生量

— ごみ種類別発生量 —

年度		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	
人口		人	77,658	77,755	77,873	77,931	78,282	78,484	78,825	79,324	79,967	
収集	可燃ごみ	収集量 t/年	16,658.20	16,759.69	16,778.55	16,328.81	16,214.96	16,293.67	16,036.84	15,643.77	14,218.77	14,036.65
		原単位 g/人・日	587.69	590.53	590.30	572.48	567.49	568.78	557.39	538.83	488.75	480.91
	粗大ごみ	収集量 t/年	238.97	279.67	326.39	202.48	220.78	224.33	213.91	210.18	173.09	193.19
		原単位 g/人・日	8.43	9.85	11.48	7.10	7.73	7.83	7.43	7.24	5.95	6.62
	資源ごみ	収集量 t/年	1,734.22	1,869.36	1,958.10	2,098.11	2,149.60	2,189.37	2,182.99	2,183.99	1,993.39	2,132.63
		原単位 g/人・日	61.18	65.87	68.89	73.56	75.23	76.43	75.87	75.23	68.52	73.07
	有害ごみ	収集量 t/年	29.63	32.49	33.88	30.99	34.27	30.92	27.99	29.45	26.82	28.98
		原単位 g/人・日	1.05	1.14	1.19	1.09	1.20	1.08	0.97	1.01	0.92	0.99
	側溝清掃汚泥	収集量 t/年	78.13	75.19	65.74	81.98	58.29	74.04	66.39	94.02	80.00	55.39
		原単位 g/人・日	2.76	2.65	2.31	2.87	2.04	2.58	2.31	3.24	2.75	1.90
計	収集量 t/年	18,739.15	19,016.40	19,162.66	18,742.37	18,677.90	18,812.33	18,528.12	18,161.41	16,492.07	16,446.84	
	原単位 g/人・日	661.11	670.05	674.18	657.10	653.69	656.70	643.98	625.55	566.89	563.48	
直接搬入	可燃ごみ	t/年	5,343.56	5,444.36	5,874.75	5,805.44	5,769.29	5,930.65	5,776.23	5,473.72	5,315.28	5,368.84
	粗大ごみ	t/年	263.29	226.91	281.34	339.65	340.94	392.10	373.02	416.81	395.14	395.86
	資源ごみ	t/年	51.20	50.48	37.39	44.73	42.29	48.93	24.93	19.13	17.99	20.90
	埋立ごみ	t/年	8.79	7.44	7.38	0.06	0.00	1.02	0.00	0.00	0.00	0.10
	計	t/年	5,656.84	5,729.19	6,200.86	6,189.88	6,152.52	6,372.70	6,174.18	5,909.66	5,728.41	5,785.70
小計	t/年	24,395.99	24,745.59	25,363.52	24,932.25	24,830.42	25,185.03	24,702.30	24,071.07	22,220.48	22,232.54	
集団回収	t/年	3,875.80	3,843.43	2,203.09	2,966.24	3,026.75	2,901.73	2,845.05	2,654.13	2,452.63	2,372.12	
拠点回収	t/年	92.30	102.66	88.05	84.91	80.48	81.00	84.95	54.70	52.93	58.71	
小計		3,968.10	3,946.09	2,291.14	3,051.15	3,107.23	2,982.73	2,929.99	2,708.83	2,505.56	2,430.83	
総計	ごみ総量	t/年	28,364.09	28,691.67	27,654.66	27,983.39	27,937.65	28,167.75	27,632.29	26,779.89	24,726.04	24,663.36
	原単位	g/人・日	1001	1011	973	984	978	983	960	925	850	845

(2) ごみの性状

乙訓地域全体のごみの性状（家庭系・事業系）は、下記のとおりです。

— ごみ質分析(湿ベース) — (乙訓環境衛生組合)

		H18	H19	H20	H21	H22
三成分	水分 (%)	44.55	37.00	39.39	43.20	44.70
	灰分 (%)	6.29	6.47	9.59	4.83	8.89
	可燃分 (%)	49.16	56.53	51.03	51.97	46.64
低位発熱量 (kJ/kg)		10,040	10,530	9,980	10,290	9,400
種類別組成(湿)	紙布類 (%)	37.96	59.62	53.63	50.56	52.85
	木・竹類 (%)	5.60	7.19	7.22	9.06	8.62
	合成樹脂類 (%)	23.61	16.25	14.54	19.62	17.97
	厨芥類 (%)	28.12	11.52	15.17	17.74	14.92
	不燃物 (%)	1.59	1.26	1.75	0.46	3.44
	その他 (%)	3.13	4.16	7.70	2.58	2.20
単位容積重量 (kg/m³)		158	140	158	121	145

●長岡京市のごみの性状

平成23年6月及び11月に家庭系ごみ及び事業所系ごみの組成分析を実施し、結果は下記のとおりでした。

①家庭系ごみ

家庭系ごみは、6月に在所系、11月には新興住宅を中心とした組成分析を実施し、2回の平均は下記のとおりになります。

— ごみ組成分析結果（家庭系） —

	パーセント					
	乾き	湿り	※7都市平均	※1 A市	※2 B市	
①厨芥類	11.73	19.12	31.50	24.57	40.45	
②紙類：資源化可能類	18.84	20.97	21.70	39.97	22.80	
②紙類：資源化不可能類	20.63	16.24	10.90			
③木類	10.34	12.74	6.30	6.15	3.99	
④繊維類：資源化可能類	8.06	6.20	5.60	②に含む	2.46	
④繊維類：資源化不可能類	0.00	0.00				
⑤プラスチック類：ペットボトル	0.92	0.47	1.30	22.47	23.24	
⑤プラスチック類：（容器包装類）：プラスチック製容器	4.48	2.77	5.80			
⑤プラスチック類：（容器包装類）：食品トレイ	0.65	0.43	0.40			
⑤プラスチック類：（容器包装類）：発泡スチロール類	0.21	0.15	0.40			
⑤プラスチック類：（容器包装類）：チューブ類	0.21	0.10				
⑤プラスチック類：（容器包装類）：レジ袋	1.63	1.07	0.70			
⑤プラスチック類：（容器包装類）：ビニール袋	1.82	2.27				
⑤プラスチック類：（容器包装類）：その他	2.66	1.66	0.20			
⑤プラスチック類：（容器包装以外）	0.86	0.70	2.80			
⑥ゴム・皮製品	0.05	0.03	0.50			
⑦不燃物：陶磁器類	0.11	0.05				1.49
⑦不燃物：乾電池・蛍光灯類	0.04	0.02	0.20	0.01		
⑧複合品：ライター・カミソリ	0.00	0.00				
⑨金属類：缶類	0.00	0.00	0.80	0.14		
⑨金属類：スプレー缶	0.00	0.00				
⑨金属類：その他	0.49	0.23	2.10			
⑩ガラス類：ビン類	0.94	0.33	4.80		0.18	
⑩ガラス類：ビン類以外	2.41	1.22	0.30			
⑪その他：上記以外のもの	13.17	13.37	3.70	5.35	6.73	

※1：7都市平均：「容器包装廃棄物排出実態調査」（環境省）一般廃棄物組成調査結果（湿り）

※2：類似団体比較（湿り）

②事業系ごみ

事業系ごみは、6月に飲食店系、11月にはオフィス系を中心とした組成分析を実施し、結果は下記のとおりになります。

— 事業系ごみ組成分析結果 —

	飲食店関係		オフィス系	
	パーセント			
	乾き	湿り	乾き	湿り
①厨芥類	29.82	38.72	3.40	7.01
②紙類：資源化可能類	33.80	29.66	68.17	74.70
②紙類：資源化不可能類	1.79	1.57	2.20	2.23
③木類	5.67	7.06	0.55	0.32
④繊維類：資源化可能類	3.18	2.79	0.00	0.00
④繊維類：資源化不可能類	0.00	0.00	1.21	0.83
⑤プラスチック類：ペットボトル	0.00	0.00	1.21	0.76
⑤プラスチック類：（容器包装類）：プラスチック製容器	8.35	5.44	3.40	1.91
⑤プラスチック類：（容器包装類）：食品トレイ	1.09	0.71	0.22	0.13
⑤プラスチック類：（容器包装類）：発泡スチロール類	0.10	0.07	0.00	0.00
⑤プラスチック類：（容器包装類）：チューブ類	0.00	0.00	0.00	0.00
⑤プラスチック類：（容器包装類）：レジ袋	0.99	0.64	0.66	0.51
⑤プラスチック類：（容器包装類）：ビニール袋	2.09	1.36	9.00	5.35
⑤プラスチック類：（容器包装類）：その他	0.50	0.33	0.88	0.64
⑤プラスチック類：（容器包装以外）	0.99	0.64	5.38	3.12
⑥ゴム・皮製品	0.20	0.18	0.22	0.13
⑦不燃物：陶磁器類	3.08	2.76	0.00	0.00
⑦不燃物：乾電池・蛍光灯類	0.00	0.00	0.00	0.00
⑧複合品：ライター・カミソリ	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨金属類：缶類	2.88	2.58	3.40	2.04
⑨金属類：スプレー缶	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨金属類：その他	1.69	1.51	0.00	0.00
⑩ガラス類：ビン類	2.49	2.23	0.00	0.00
⑩ガラス類：ビン類以外	0.00	0.00	0.00	0.00
⑪その他：上記以外のもの	1.29	1.75	0.11	0.32

4) ごみ処理の実績

(1) 収集運搬

a. 収集対象

収集対象地域は計画収集区域全体です。

b. 収集運搬体制

ごみの収集運搬は、以下のとおりです。

— 収集運搬体制 —

可燃ごみ		資源ごみ・有害ごみ		粗大ごみ		側溝清掃汚泥	
ステーション方式	委託	ステーション方式	直営	個別有料予約収集	直営	個別収集	直営
一時多量ごみ	直営		委託		委託		

c. 収集頻度

収集頻度は原則として、可燃ごみが週2回、資源ごみ・有害ごみは月2回（その他プラスチック類は月4回）で、粗大ごみは随時対応としています。祝日・振替休日の対応がごみの種類によって異なるため、月によっては、収集日数が週1回・月1回になる地区があります。

— 収集頻度 —

可燃ごみ		資源ごみ・有害ごみ			粗大ごみ	側溝清掃汚泥
週2回	祝日も収集	月2回	資源ごみ・有害ごみ（その他プラスチック類を除く）	祝日は収集しない	随時	毎週月曜日（祝日は除く）
		月4回	その他プラスチック類			

d. 排出方式

排出方式は、以下のとおりです。

— 排出方式 —

可燃ごみ	資源ごみ・有害ごみ	粗大ごみ	側溝清掃汚泥
当日8時までに出す 生ごみは水切りをし、ごみ袋の口を結んで出す ごみ袋の指定はなし	当日朝7～9時までに出す コンテナ方式	電話で申込み 収集日・手数料・収集場所を確認 「ごみ・粗大ごみ処理手数料券」を購入 収集当日の予約時間までに出す	泥回収袋

e.収集車両

収集運搬に使用されている車両は、以下のとおりです。

— 収 集 車 両 —

可燃ごみ	資源ごみ・有害ごみ		粗大ごみ	側溝清掃汚泥
車 種	種 別	車 種	車 種	車 種
パッカー車 ロータリー車	カン類	2 t パッカー車	2 t ダンプ車	パッカー車
	ビン類	2 t ダンプ車		
	ペットボトル	2 t パッカー車		
	その他プラスチック類	2 t パッカー車		
	その他不燃	2 t パッカー車		
	有害ごみ	2 t ダンプ車		
	排出容器運搬用	2 t ダンプ車		

f.事業系ごみ

事業者が排出する一般廃棄物は事業者自ら搬入するか、市が許可した業者への委託により搬入されています。

(2) 中間処理

収集または直接搬入された可燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみは、組合の各施設において、焼却・選別・破碎等の処理を行っています。施設の概要は、以下のとおりです。

なお、ごみ処理施設には小動物焼却炉(200kg/2時間)を別途備えています。

— 中間処理施設の概要 —

名 称	乙訓環境衛生組合		
	ごみ処理施設	リサイクルプラザ (粗大ごみ処理設備・資源ごみ処理設備)	プラプラザ (その他プラスチック類容器包装廃棄物圧縮梱包設備・ペットボトル減容設備)
所在地	京都府乙訓郡大山崎町字下植野小字南牧方32番		長岡京市勝竜寺下長黒1-1
処理能力	75t/24h×3基	粗大ごみ 32t/5h 資源ごみ 14t/5h	その他プラスチック類 9.3t/5h ペットボトル 1.81t/5h
処理形式	ストーカー式	選別・破碎・圧縮・梱包	選別・圧縮・梱包
整備年度	着 工	1・2号炉 平成4年8月 3号炉 平成11年7月	平成8年8月
	竣 工	1・2号炉 平成7年3月 3号炉 平成14年3月	平成10年3月
供用開始	1・2号炉 平成7年4月 3号炉 平成14年4月	平成10年4月	その他プラスチック類 平成13年4月 ペットボトル 平成23年4月
建築面積	2,830.47㎡	1,575.39㎡	2,200.16㎡
延床面積	8,019.09㎡	5,453.31㎡	2,250.14㎡

(3) 最終処分

平成2年度までは勝竜寺埋立地にて全量を最終処分していましたが、勝竜寺埋立地延命化の取組みとして、平成3年度から大阪湾圏域広域処分場整備基本計画（以下「フェニックス計画」といいます。）に参画し、大阪湾広域臨海環境整備センターへ焼却残渣の一部を、平成19年度からは大部分を搬出しており、今後も勝竜寺埋立地延命に向け継続していく予定です。

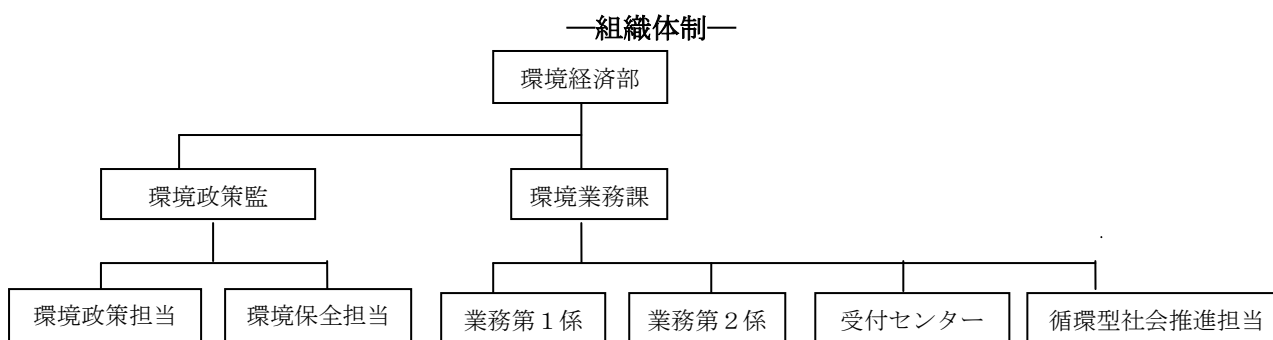
— 最終処分場の概要 —

名称	乙訓環境衛生組合	大阪湾広域臨海環境整備センター（大阪湾フェニックスセンター）			
	勝竜寺埋立地	尼崎沖埋立処分場	泉大津沖埋立処分場	神戸沖埋立処分場	大阪湾沖埋立処分場
処分場所在地	京都府長岡京市勝竜寺下長黒1-1	尼崎西宮芦屋港/尼崎市東海岸町地先	堺泉北港/泉大津市汐見町地先	神戸港/神戸市東灘区向洋町地先	大阪港/大阪市此花区北港緑地地先
埋立面積	39,334㎡	1,130,000㎡	2,030,000㎡	880,000㎡	950,000㎡
計画埋立量	322,992.7㎡	16,000,000㎡	31,000,000㎡	15,000,000㎡	14,000,000㎡
残余容量	71,928.95㎡				
埋立対象物	焼却残渣、側溝清掃汚泥	一般廃棄物・産業廃棄物・陸上残土・浚渫土砂			
埋立開始年	1981年				

5) ごみ処理体制

(1) 運営・維持管理体制

ごみ処理に関する本市の組織体制は、以下のとおりです。



(2) ごみ処理経費

ごみ処理経費は、以下のとおりです。

— ごみ処理経費 —

	H18	H19	H20	H21	H22	
人口	78,484	78,825	79,324	79,704	79,967	
収集量 (t/年)	18,812.30	18,528.10	18,161.40	16,492.10	16,446.90	
年間経費 (千円/年)	収集経費	646,278	636,092	634,801	621,902	615,376
	処理・処分経費	1,154,526	1,166,570	1,087,844	881,393	1,000,267
	計	1,800,804	1,802,662	1,722,645	1,503,295	1,615,643
人口1人あたり経費 (円/人)	収集経費	8,235	8,070	8,003	7,803	7,695
	処理・処分経費	14,710	14,864	13,861	11,230	12,745
	計	22,945	22,933	21,863	19,033	20,440
収集量1tあたり 経費 (円/t)	収集経費	34,354	34,331	34,953	37,709	37,416
	処理・処分経費	61,371	62,011	57,826	46,852	53,171
	計	95725	96,342	92,780	84,561	90,587

6) 関連計画

(1) 分別収集計画

○計画期間

平成23年4月を始期とする5カ年計画（3年ごとに改定）

○基本的方向

- ・ごみ排出抑制、リサイクルを基本とした地域社会づくり
- ・全ての関係者が一体となって取り組む、環境負荷の低減による環境にやさしい社会づくり
- ・ごみの減量化、資源化を行うことにより、最終処分場の延命を図る

○実施に関し重要な事項

a. 廃棄物減量等推進員

自治会、一般市民、事業所からの委員で構成された廃棄物減量等推進員を設置し、市民が主体となったマイバッグキャンペーン等ごみ減量施策及びリサイクル活動の推進を図ります。

b. 排出指導の徹底

シルバー人材センターの人員を活用して実施している分別排出指導と合わせ、今後は廃棄物減量等推進員及び自治会等市民団体と協力し、適正排出指導についての継続的な取り組みを行います。

c. 集団回収の促進

地域活動の一環として、自治会・子供会及びその他市民団体が実施している資源ごみ集団回収事業に対しての支援を今後においても継続実施していきます。

d. 量販店等の資源化推進事業

量販店・エコストアに廃棄物の削減、再生品の購入促進を促します。また、レ

ジ袋等過剰包装の削減協力を販売店と消費者である市民に訴えていきます。

e. エコタウン推進事業

自治会の住民が自主的かつ自発的に上記 a～c の事業、アルミ缶リサイクル回収事業、地域美化運動及び学習会を行う。市はそれに対しての助成・支援を行うことにより環境への負荷の少ないまちづくりを推進します。

(2) 一般廃棄物処理実施計画

○計画期間

毎年4月策定

○内容

一般廃棄物処理実施計画は、本計画に示された内容を実施するために必要な各年度の事業を定める計画です。